



2023年11月10日

各位

会社名 クオリプス株式会社
代表者名 代表取締役社長 草薙 尊之
(コード：4894、東証グロース市場)
問合せ先 取締役 管理本部長 井上 学
(TEL. 03-6231-0043)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2023年11月10日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、2023年6月27日に公表しました通期業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

1. 当期の業績予想数値の修正 (2023年4月1日～2024年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	215	△1,210	△1,246	△1,249	△174.50
今回修正予想 (B)	32	△1,059	△1,099	△1,100	△149.52
増減額 (B-A)	△183	151	147	149	
増減率 (%)	△85.0	—	—	—	
(参考) 前期実績 (2023年3月期)	38	△450	△450	△452	△79.90

2. 修正の理由

売上高の当初予想の見直しに関しまして、主たる要因としては、CDMO事業における各顧客の今後の製造開発スケジュール等をヒアリングした上で契約期間又は受注時期を見積っておりましたが、各顧客の製造開発スケジュール等に一部、見直しが生じたため、売上高が翌事業年度にずれ込む見込みです。その他、受注量に応じて変動する案件は、契約単価に見込受注量を乗じて算定しておりましたが、顧客の生産計画の変更により実際の受注量が下回って推移しました。その結果、当初予想から売上高は183百万円下回る見込みです。

当社におけるCDMO事業の位置づけとして、当社は、研究開発型の企業であり、再生医療等製品の開発期間は長期に渡り、黒字化には時間を要することから、それまでの期間、CDMO事業の売上のみで黒字

化には至らなくとも安定的な収入を獲得し、Cash burn rate（手許流動性が減る速度）を抑制するための方策として取り組んでまいりました。今後の見通しとして、CDMO 事業への引き合いはあるものの、当社が最優先で取り組んでいる心筋細胞シート（ICM）の製造販売承認に係る申請業務に経営資源を集中させるため、CDMO 事業の新規受注獲得のための活動を一時的に中断すると共に、相対的に業務負荷の少ない培養上清事業の開発に取り組んでまいります。CDMO 事業における新規受注獲得のための活動の中断は一時的な措置であり、心筋細胞シート（ICM）の製造販売承認に係る申請準備の状況を勘案して再開いたします。なお、今回の措置は、事業ポートフォリオを大きく変更するものではありません。

利益面につきましては、当初予想において研究開発計画等に基づき、研究開発費を含む販売費及び一般管理費を見積っておりましたが、効率的な事業運営を推進したことによる人件費や業務委託費等の固定費を中心とする費用の抑制又は削減や、経費執行時期のコントロールに努めました。また、共同研究開発パートナーから受領する共同研究開発費が当初の想定より増加したため、当社の研究開発費負担が減少し、研究開発費は当初予想の 830 百万円から 665 百万円に減少する見込みです。さらに、売上高の減少に伴い、売上原価が当初予想の 129 百万円から 20 百万円に減少する見込みです。その結果、売上高が減少するものの、売上原価及び研究開発費を含む販売費及び一般管理費の減少により、当初予想から営業損失は 151 百万円、経常損失は 147 百万円、当期純損失は 149 百万円それぞれ改善する見込みです。

（注）上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいており、実際の業績等は様々な要素により記載の予測数値とは異なる結果となる可能性があります。

以 上